

修了評価の方法

評価基準作成者：大野 典子

評価方法及び合格基準	<ol style="list-style-type: none">1 出題範囲<ul style="list-style-type: none">・「(2) 介護における尊厳の保持・自立支援」から「(9) ことごとからだのしくみと生活支援技術」までとする。2 出題形式<ul style="list-style-type: none">・四肢択一形式とする。3 出題数<ul style="list-style-type: none">・四肢択一問題 15 問 全問正解：15 点満点4 合否判定基準<ul style="list-style-type: none">・9 点以上（6 割以上）5 不合格になったときの取扱い<ul style="list-style-type: none">・不合格者には、補習のうえ再評価を行う。なお、再評価に係る合格基準は6割以上とし、補習料・再評価料は無料とする。再評価は、最大 3 回のみとし、最終試験の結果、不合格となった者は、未修了扱いとなるため注意すること。
------------	--